

NHPT・Purdue Pegboard 記録シート

A4 1 枚 / 成人向け / 標準法と院内参考を分けて記録

実施日	評価者	利き手
罹患側	疼痛 NRS	装具・補助具

固定条件 / 評価前確認

姿勢 座位 / 足底接地 / 前腕支持	NHPT 利き手→非利き手 / 練習 1 回後に実測
ボード位置 水平正面 / 容器は評価手側	計時 最初のペグ接触で開始 / 最後の 1 本が容器に入ったら停止
休息 必要時 30-60 秒 / 疼痛増悪で中止検討	Purdue 右 30 秒 / 左 30 秒 / 両手 30 秒 / assembly 60 秒

NHPT (小さいほど良好)

標準の比較値は実測 1 を基本にし、院内で追加反復する場合は参考欄に分けて残す。

手	練習	実測 1	参考 2	参考 3	代表値	無効	備考
利き手	完了 <input type="checkbox"/>	_____	_____	_____	_____ 秒	<input type="checkbox"/> あり	疼痛 / 落下 / 代償
非利き手	完了 <input type="checkbox"/>	_____	_____	_____	_____ 秒	<input type="checkbox"/> あり	疼痛 / 落下 / 代償

Purdue Pegboard (大きいほど良好)

右手・左手は本数、両手はペア数、assembly は完成ユニット数ではなく部品点で記録する。

パート	試行 1	試行 2	試行 3	代表値	単位 / 備考
右手 (30 秒)	_____	_____	_____	_____	本数 / 落下メモ
左手 (30 秒)	_____	_____	_____	_____	本数 / 落下メモ
両手 (30 秒)	_____	_____	_____	_____	ペア数 / 同時性
assembly (60 秒)	_____	_____	_____	_____	部品点 / 手順ミス

観察メモ / 生活課題への翻訳

例) 右手はつまみ動作で遅延あり / 両手課題で同時性低下 / assembly で手順保持が不安定
生活課題: 書字 / ボタン / スマホ / 両手作業 / 職務工程

次の一手 / 再評価

例) NHPT 再測 / Purdue 両手課題追加 / 同条件で再評価

共有 / 条件固定

例) 前腕支持あり / 疼痛 NRS / 測定順を固定